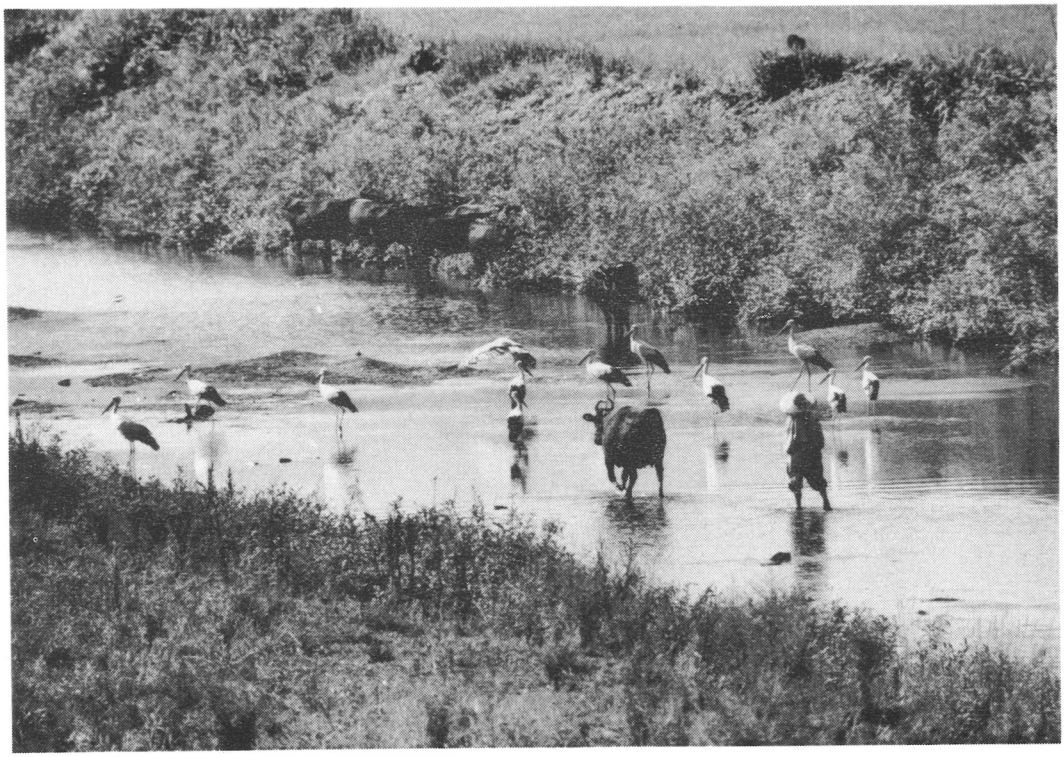


（故高井信雄氏　撮影）

## 35年前，みんなで暮らしていた

35年前，円山川のほとりで牛を飼う人や，田の草を取る人のそばで，コウノトリは，共に暮らしていました。しかし，森林の伐採や農薬の使用などによって減少を続け，1971年野生最後の1羽が日本の空から姿を消しました。

種を救うために始まった人工飼育の地道な努力のすえ，1989年5月ついに2羽のヒナが誕生したのです。そして現在では41羽になりました。コウノトリと共に暮らせる豊かな環境と時間を私たちはとりもどすことができるでしょうか（豊岡市教育委員会）。